
おてがみ

秋紅あまね

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

おてがみ

【Nコード】

N0992C

【作者名】

秋紅あまね

【あらすじ】

三時はおやつの時間。だけどナオちゃんは三時のおやつよりも大好きなものがあります。それは……

赤い屋根と茶色のレンガのおうち。そのおうちには赤いリボンをむすんだナオちゃんという女の子がいました。

ナオちゃんはおやつの間になるととてもウキウキな気分になります。

大好きなおやつの間だから？

いいえ。ナオちゃんはおやつよりももっと好きなものがあるのです。それは……

「ママ、ゆうびんやさんは今日はこないの？」

「もうちょっとでくるわよ」

「でも三時になってもまだこないの」

「大丈夫、きっと遅れているだけよ」

「……ゆうびんやさん、はやくこないかなー」

ナオちゃんのおやつよりも好きで、おやつの方にウキウキな気分になるもの。それはゆうびんやさんが届けてくれるお手紙です。

ナオちゃんのパパはいま、おしごとでとおくの町にいます。おしごとだからしかたがないけどナオちゃんはとてもさびしいです。だけどナオちゃんのパパはそんなナオちゃんのためにまいにち、まいにち休みなくナオちゃんのためにおてがみをかいてくれるのです。

ナオちゃんはきょうもパパからのお手紙を待ってます。

コンコン。おうちのドアがたたかれました。

ナオちゃんママがドアを開けるとナオちゃんのことをよびました。
ゆうびんやさんです。

ナオちゃんはいそいでゆうびんやさんのまえにいきます。

「はい、おてがみだよ」

ゆうびんやさんのしわくちな手がもつ、おてがみ。ナオちゃんは
目をきらめかせそのおてがみを受けます。

「わあっ、ありがとうゆうびんやさん！」

「いえいえどういたしまして」

ニッコリと笑うとゆうびんやさんはペコリとあたまをさげて、つぎ
のおてがみを届けにきました。

ナオちゃんはテーブルにかけより、おてがみをあけるとおてがみには
パパの字がかかれたかわいらしいお花のびんせんがはいってまし

た。

そのびんせんをりょうてでもちママにきこえるようにナオちゃんはよみあげます。

「ナオとママへ、げんきですか？ パパはきょうもげんきです！

きょうもたくさんいろんなことがあったからいっぱいお話したいんだけど、きょうはナオとママにうれしいお知らせがあるんだ。なんとパパのおしごとが終わって、あさってにはおうちに帰れることになったんだ——ママ！ パパがあさってに帰ってくるんだって！！

」

「あら！」

手を合わせておどろいたかおをするママにナオちゃんはさらに目をきらめかせていいいます。

「ママ、あさってパパがかえってくるんだからパーティーしよう！」

「ええ、そうね。パパがかえってくる日はおいしいおりょうりを作ってパパに食べてもらいましょう」

「うん！」

こうしておてがみをうけとったナオちゃんは、あさってにかえってくるパパのためママといっしょにおりょうりをつくるのでした……

「おわり」

（後書き）

秋紅あいねです。童話というより子供向けに書いた「おてがみ」は如何でしたでしょうか？

このお話の元は年賀メールに使う予定だった自作待受け画像から出来たものでした。

私は待受け作りが密かな趣味なので今年の年賀メールには三パターンぐらい待受け画像を作ったのです。そしてこの小説の元ネタ、三パターン内の一枚、年老いた郵便屋さんがそれでした。

一番愛着がありながらも結局は他の一枚を使用しそのままお払い箱になってしまったのですが年数など書いてないし小説の挿し絵として使えそうと思い同じく今年の二月頃に小説化致しました。言うなれば挿し絵からできた小説ですね。

ひらがなの方が多く読みづらいかもしれませんが少しでも楽しんでもらえれば嬉しいです（サイト公開可能と言うことなのでいつかサイトで挿し絵付きで小説を公開致します）

それでは最後までお読み頂き有難う御座いました！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0992c/>

おてがみ

2010年10月17日01時49分発行